

Digital Experience Analytics データ収集 [DXA] の制御

概要

デジタルエクスペリエンス分析 [Digital Experience Analytics [DXA] 旧称 UBT] のデータ収集を制御することは [Insights] のユーザーエクスペリエンスを理解する上で重要な点の1つです。この機能を利用して WalkMe にデータ収集が許可されているかどうかを通知することで [DXA] をコントロールできるようになりました。

注:
このメカニズムがオンになっている場合（つまり [DXA] が手動モードに設定されている場合）、セッションプレイバックも自動的に手動モードに設定されます。詳細については、[Insights の Session Playback \[セッション再生\] の記事](#) を参照してください。

ユースケース

センシティブなページ

アプリに「課金情報」フォームや「個人プロフィール」などの PII を含むセンシティブなページが存在している場合があります。エレメントの検閲を行ってこのページのすべてのエレメントをブロックリストに登録する代わりに、このページの `isWalkMeUserBehaviorDataCollection` を `False` に設定することで [DXA] イベントはこのページから収集されなくなります。

収集のための領域のリスト許可

すべてのエンゲージメントについて自動追跡またはサイトから WalkMe への送信を行わない場合 [UBT] コレクションを手動モードに設定し（以下の方法を参照）、`isWalkmeUserBehaviorDataCollectionEnabled` を「真」に設定するのは [WalkMe] で Digital Experience Analytics イベントの相互作用を収集する場所だけです。例えば、センシティブでないページや機能の採用にとってビジネス上高い価値を有しているページなどです。

センシティブなアカウント

WalkMe の SaaS のお客様で、一部の顧客（アカウント）に対してのみ DXA の収集が必要な場合があります。例えば、サービスプロバイダーはベータ版のお客様または EU 圏外のお客様からのみ DXA を収集したい場合があるかもしれません。その場合、エンドユーザーが DXA を収集したいアカウントからのものであるときは `isWalkMeUserBehaviorDataCollection` を `True` に設定することをお勧めします。

使用方法

DXA のデフォルト動作を定義し、収集を防止するステップ

デジタルエクスペリエンス分析 (DXA) がオンになると、サイトのインタラクションイベント（クリック、入力の変更など）の自動収集がすぐに開始されます。

特定のページまたは特定の場合に収集されないようにするには、グローバルウィンドウオブジェクトに「**isWalkmeUserBehaviorDataCollectionEnabled**」という関数を定義するだけです。収集ツールは、Digital Experience Analytics イベントを WalkMe に送信する前に、その関数を照会します。

この関数の唯一の有効な戻り値はブーリアン型（true/false）であり、その他の値は無視されてデフォルト動作は保存されます。

isWalkMeUserBehaviorDataCollectionEnabled が *True* を返す場合、ユーザーの行動イベントが収集され、WalkMe に送信されます。

isWalkMeUserBehaviorDataCollectionEnabled が *False* を返す場合、ユーザー行動イベントは収集されず、WalkMe に送信されません。

注:

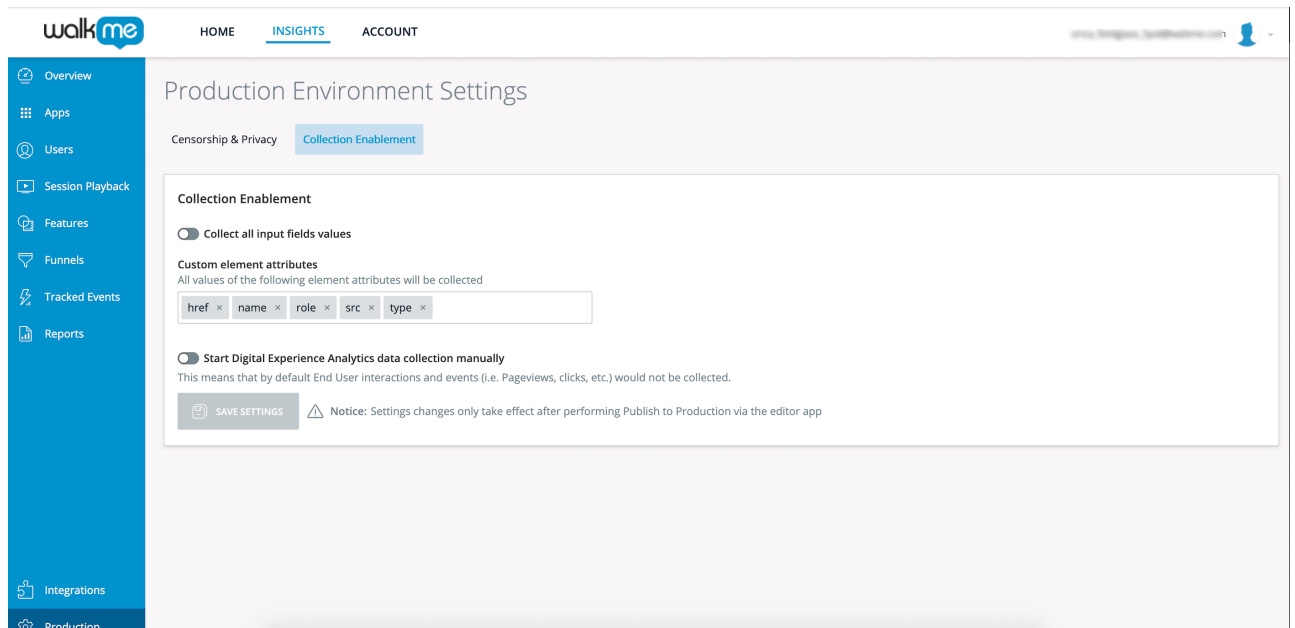
isWalkmeUserBehaviorDataCollectionEnabled 関数は、他のタイプのイベント (WM エンゲージメントまたはセッションプレイバック) を制御しません。

isWalkMeUserBehaviorDataCollectionEnabled が未定義であるか、または無効な値を返す場合、デフォルト動作が使用されます。

デフォルト動作では DXA が収集されます。isWalkMeUserBehaviorDataCollectionEnabled が定義されていて True を返す場合にのみ、デフォルト動作が DXA を収集するように変更するには、ユーザー行動の手動収集モードをオンにする必要があります。

ユーザー行動の手動収集モードをオンにするには、以下のステップに従ってください。

1. insights.walkme.com でアカウントにログインします。
2. 選択した環境に移動し、[Environment Settings (環境設定)] をクリックします。
3. [Collection Enablement (収集の有効化)] タブに以下の画面が表示されます。



4. 「Digital Experience Analyticsデータ収集を手動で開始」の横のトグルをクリックします
5. これをオンにするには、以下のようにします。
6. 新しい設定を有効にするには、「設定の保存」をクリックし、WalkMeエディタでパブリッシュアクションを実行します。

ONになると、`isWalkMeUserBehaviorDataCollectionEnabled`が定義されて`True`を返す場合にのみDXAイベントが収集されます。関数が定義されていないか、無効な値を返すと「Digital Experience Analyticsイベントは収集されません」WalkMeエンゲージメントイベント(WMのデプロイ可能なアイテムのエンゲージメント)は収集されます。

収集を防止するコードの例

以下のコードは`False`を返す関数を定義し、収集を防止します。

```
window.isWalkmeUserBehaviorDataCollectionEnabled = function() {
  return false;
}
```

ヒント！

関数`isWalkMeUserBehaviorDataCollectionEnabled`は頻繁に呼びだされるため、重いロジックの使用は避けるようにしてください。

テストとトラブルシューティング

Digital Experience Analyticsイベントは、「Tell」という名前のリクエストでWalkMeに送信されます。

「Digital Experience Analytics分析の開始」トグルがオンになってパブリッシュが実行される

と `isWalkmeUserBehaviorDataCollectionEnabled` が定義されて真が返される場合を除き、Tell イベント（開発者ツールを使用して表示）を送信しないでください。